

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

「インベスコ 世界グリーンボンド・ファンド」を設定

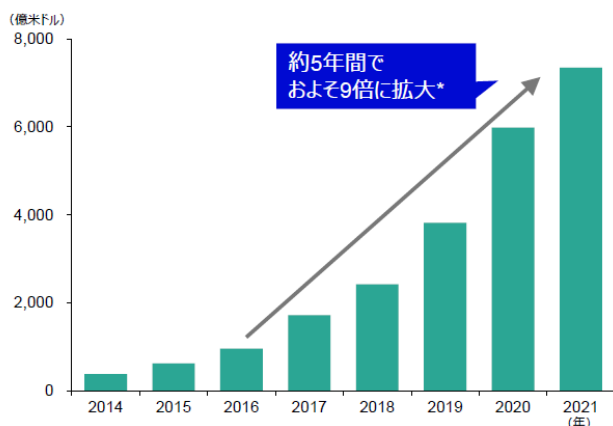
- 環境課題解決と好利回りを同時に実現する、日本初のグリーンボンド・ファンド -

2021年11月15日

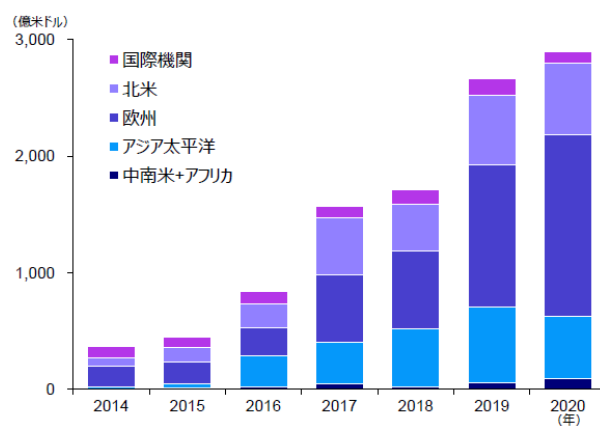
[インベスコ・アセット・マネジメント株式会社](#)（代表取締役社長兼 CEO：佐藤秀樹、所在地：東京都港区、以下「当社」）は、本日 2021 年 11 月 15 日に、「インベスコ 世界グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）／（為替ヘッジあり）」（追加型投信／内外／債券）を設定し、運用を開始いたしました。当ファンドは、日本の公募投信で初めて¹設定される、グリーンボンドを主要投資対象とした投資信託です。

グリーンボンドとは、地球温暖化対策や再生可能エネルギーに関する事業など、環境問題解決につながるグリーンプロジェクト（環境改善事業）に調達資金の使用目的を限定した債券です。気候変動など世界的な環境課題に対する意識の高まりを背景に発行額は増加し、2021 年の世界での市場規模は、5 年前に比べて約 9 倍の約 7,300 億ドル²に迫ります。また、投資成果を求めることに併せて、社会問題の中でも大きく注目が高まっている環境課題の解決に参加できる選択肢として、世界の機関投資家や富裕層をはじめとした投資家からの注目も高まっています。

グリーンボンドの市場規模の推移



グリーンボンドの新規発行額の推移



*2016年8月末と2021年8月末の比較（米ドルベース）

出所：インベスコ・アセット・マネジメント、ブルームバーグ、ClimateBondsInitiative【左グラフ】グラフ期間：2014年12月～2021年8月（各年12月末時点、2021年は8月末時点のデータ） BloombergBarclaysMSCIGlobalGreenBondIndexの時価総額データを使用しています。【右グラフ】各年12月末時点のデータ。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

¹ 2008 年以降に設定された国内公募投資信託（償還済みを含む）で、信託約款や目論見書などの開示情報からグリーンボンドが主要投資対象と判断できる投資信託としては、当ファンドが初めて設定されるファンドです。2021 年 8 月末現在、QUICK 資産運用研究所調べ

² Bloomberg Barclays MSCI Green Bond Index の時価総額 2021 年 8 月末現在、出所：ブルームバーグ

当ファンドは、世界のグリーンボンド（約 740 銘柄）の中から、原則として取得時に投資適格³以上の信用格付けを有するグリーンボンドに投資を行います。独自格付けを用いたクレジット分析（信用力調査）、独自スコアリングによる ESG 分析、12 段階評価による流動性分析など、徹底的に銘柄を厳選して投資を行うことで、相対的に価格変動リスクを抑えながら、長期で安定的な利回りの獲得を目指します。

これまでは、「社会のために貢献すること」と「自身のために運用成果を求めること」は別々の方向性と思われがちでしたが、グリーンボンドはこの 2 つを同時にかなえられる新しい資産クラスであり、当ファンドは「環境課題解決への貢献」と「長期で安定的な利回りの獲得」を同時に実現することが期待できます。

代表取締役社長兼 CEO である佐藤秀樹は、当ファンドの設定に関して次のように述べています。「インベスコは、世界の ESG 投資をけん引するリーダーであると自負しています。我々は、これからの資産運用には ESG を考慮することが不可欠であると考えています。グリーンボンドは世界的に急成長している分野であり、環境課題の解決と金融リターンとの両立を実現する ESG 投資のど真ん中に位置づけられる商品だと考えており、今回、日本で初めて、グリーンボンドに投資する投資信託をお届けすることができて大変嬉しく思います。インベスコはこれからも ESG 投資のリーダーとして、長期的な資産形成そして持続可能な社会への一助となる投資信託商品の提供に注力していきます」

以上

ご参考：

「インベスコ 世界グリーンボンド・ファンド〈為替ヘッジなし〉」について

<http://www.invesco.co.jp/funds/fd142102.html>

「インベスコ 世界グリーンボンド・ファンド〈為替ヘッジなし〉／〈為替ヘッジあり〉」について

<http://www.invesco.co.jp/funds/fd142103.html>

インベスコについて

インベスコ・リミテッド（以下、「インベスコ」）は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社です。インベスコは、グローバル市場で培った特色ある運用力を強みとするブランドを傘下に収め、世界中の個人投資家、機関投資家などの顧客の資産運用ニーズに対し、グループの総合力を結集して包括的な解決策を提供しています。インベスコは、世界 25 カ国以上に拠点を置き、ニューヨーク証券取引所に上場しています（証券コード：IVZ）。インベスコに関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)（英語）で入手することができます。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社について

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社インベスコの日本拠点です。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、内外の公的年金・企業年金、事業法人、銀行や保険会社など機関投資家を対象に、株式や債券などの伝統的な投資戦略からオルタナティブなど非伝統的な投資戦略まで幅広い商品およびサービスを提供しています。また、銀行・証券会社・保険会社などを通じて個人投資家向けの投資信託およびサービスを提供しています。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)で入手することができます。

³ 債券や発行体の債務不履行（デフォルト）リスクが低く、信用力の高い状態を指します。主な格付会社では、BBB 格相当以上を投資適格とし、一方、格付が BB 格相当以下のものを投機的といえます。

その他の留意事項

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が設定・運用する投資信託についてお伝えすることのみを目的として作成したプレスリリースであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。

投資信託は、主として国内外の株式や公社債などの値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動などにより投資一単位当たりの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧いただき内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご自身でご判断ください。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 306 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
〒106-6114
東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー 14 階
Telephone 03-6447-3000

C2021-11-556